



山ごころ

大滝せせらぎ

里ごころ

はたおと秩父

人ごころ

つながる秩父

秩父市地域おこし
協力隊たより

12.1月号
No. 55



山びんろう大滝せせりぎ

お世話になります！

冬も只中、朝晩は気温がマイナスになる日が続きま
す。母が移住してきて初めての大量の冬、近年言われ
る「ヒートショック現象*」に気を付けて温かくして
過ごしています。(お風呂は日中に入る、ストーブか
ら温風管を通してトイレを温める、などなど)今の暮
らしに慣れている方も、十分お気をつけて！

* ヒートショック現象とは・・・急激な気温変化に
よって血圧や脈拍が乱高下する現象のこと。
特に、暖かい所から急に寒い場所へ、暖かい居間
からトイレやお風呂に行くときが要注意！

季節の蜜蝋製品と特産品の試行錯誤

みつろうろうソクなどの定番商品は安定して製作
していますが、やはり、季節モノの開発は必須。クリ
スマス用にキャンドルホルダーと組み合わせ、持ち
帰り用に和紙の袋も用意して・・・今回の販売で好評
なら、近所の方に作り方を書いた紙を渡して、製作を
お願いしたいと考えています！

特産品開発では、小鹿野町の協力隊・太田さんが販売している「エ
ゴマ茶」の活用方法として、「エゴマ茶鍋」のバリエーションを。大
滝味噌の「中津いも田楽」用絡みダレとキャベツ専用ダレもそこそ
こ良さげなものが出来そうです！
しかし・・・試食してもらったための“場”を作る方が先決かなあ
と、もやもや悩む日々が続きます。

みつろうろうソクのクリスマスキャンドルホルダー
～卓上でゆらゆらと揺らめく灯りがとても綺麗～



エゴマ茶なべ～不織布袋にエゴマ茶と昆布を入れて
煮詰めた出汁。煮込んでもエグミがでません！～



お問い合わせ・ご質問は・・・

大滝総合支所 地域振興課 谷口まで！

TEL 0494-5510862

里ごころ

はたおと秩父①

銘仙PR担当 関川

秩父銘仙の代表的な柄について聞かれる機会が多いので、よく見かける柄をご紹介します。

■植物文様

秩父銘仙といえば植物文様です。身近な草花をデザインに取り入れたと言われていています。

1 椿



圧倒的枚数に出会える椿柄。抽象化されたものも多く長く愛されたことが分かります。

2 薔薇



洋花の代表。銘仙の代名詞的花柄。

3 牡丹、梅...



昔から着物で使われている牡丹や梅もよく見かけます。牡丹は長く着られる柄なので普段着の銘仙には重宝したのかもしれませんが。

■幾何学文様

線や点などで構成された文様です。

1 麻の葉



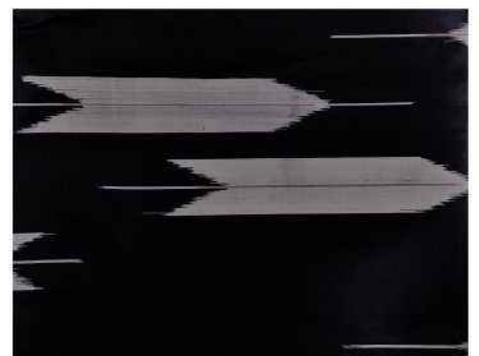
菱形を用いて麻の葉を表現した柄。麻がすくすく育つことから産着に使われる。魔除けの意味もある。

2 さやがた 紗綾型



卍の形を崩して繋げたもの。不断長久を表し子孫繁栄や長寿の意味がある。

1 矢羽根



矢羽を意匠化したもの。矢は一方向に進むことから出戻りしない縁起物とされています。

里ごころ はたおと秩父②

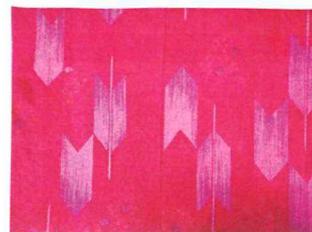
＜最近の活動報告＞

12/2(土),3(日) 秩父夜祭絹市

開催場所の秩父神社近くの買継商通り・黒門通りは、昨年以上の人出でにぎわっていて、大盛況のうちに終了しました。

プロジェクトメンバーや出店者だけでなく、地元の人や着物姿で訪れてくれた人など、みんなで盛り上げることができたお祭りだったと思います。

地域おこし協力隊のブースとしては「秩父おもいで市」を出店し、秩父のみなさんのタンスや蔵に眠る着物などを、思い出と一緒に販売しました。たくさんの方々に、手伝っていただいて、助けていただいて、感謝の気持ちでいっぱいです。



秩父夜祭絹市
「銘仙柄コンテスト」
で1番人気だった矢羽柄

12月 ちちぶ銘仙館ホームページ 英語ページ追加

ちちぶ銘仙館のホームページに、外国人対応できるよう英語ページを追加しました。

外国人のお友達に、是非紹介していただければと思います。

今後は、館内案内も外国人対応できるように準備していきたいと思っています。

＜今後の活動予定＞

2018年1月12日(金)～21日(日) ふるさと祭り(東京ドーム) 秩父銘仙小物の販売など

人ごころ つながる秩父

秩父夜祭絹市に参加しました。

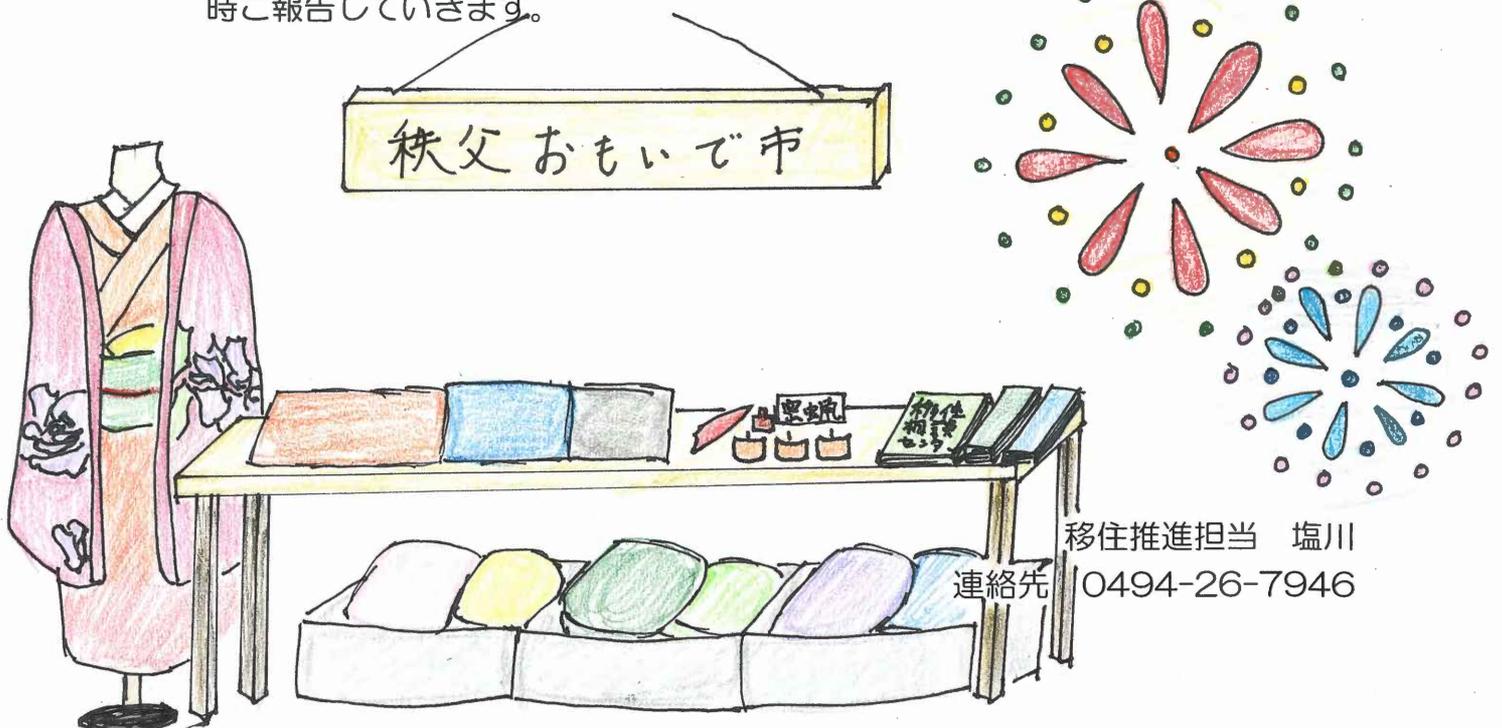
あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。秩父に来て初めての冬を迎えています。昨年の12月、待ちに待った秩父夜祭に参加しました。昨年の秩父夜祭の訪問人数は約38万人!!なんと秩父市の人口の約6倍の人が12月2日・3日の2日間に訪れたとは驚きですね。あの番場通りで人が密集して動けなくなっている状態を私は初めて見ました。

さて、今回初参加であった夜祭でしたが、私は同じ地域おこし協力隊の走出さんが担当する「秩父夜祭絹市」で簡易移住相談センターを出店していました。移住相談センターのチラシもちょうど刷り上がっていましたので、他のパンフレットと併せて配布しました。

やはり夜祭に来るだけあって、秩父への関心が高い方が来ていたように思います。移住相談センターやちちぶ空き家バンクのチラシ、ふるさと納税のパンフレットなど、用意した資料はほとんど無くなってしまいました。相談そのものは無かったものの、いいPRになったと思います。

2日間を通して、祭りの全てを見ることはできませんでしたが、祭り独特の雰囲気と雄大な笠鉾や屋台を間近で見ることができ、大満足でした。また、空き家の片付けの際に出てきた古着が、「秩父おもいで市」で買われているのを見て、「ああ、(空き家の片付けを)やってよかったなあ」と思いました。

空き家の活動は寒くなってきましたので、休止中です。また春を迎えてから随時ご報告していきます。



移住推進担当 塩川
連絡先 0494-26-7946

ちちぶ歴史探訪

12月/1月～Dec./Jan.～

4月に続き、「ちちぶ歴史探訪～大滝編～」です！

前回は大滝村の歴史、中でも合併前の大滝の様子にスポットを当てて紹介しました。

今回は「大滝」の“^{ふかん}普寛神社”を紹介します！



～^{ふかん}普寛行者の御嶽^{おんたけふかん}普寛神社～

大滝には幾つかの神社がありますが、その中でも筆者にとって馴染み深い場所に落合区の「御嶽普寛神社」があります。協力隊たよりもイラストで数回登場。この神社、地元では“普寛様(ふかんさま)”と呼ばれています。その由来である「普寛行者」の紹介を。

落合の木村信二郎の5男として生まれ、両親との死別後、江戸八丁堀に住む伯父・法性院伯忍の所へ。八丁堀の同心・浅見家に婿入りしましたがその後、修験者を志し法性院^{ほっしょういん}の元で出家、故郷大滝へ戻り名を「法明院普寛信英^{ほうみょういん}」と改め、「普寛行者」としての道程が始まったようです。(諸説あります)

諸国遍歴^{おうたき}のこと、常時携帯していた“三種の呪物^{にゆうじやく}”のこと、木曾御嶽山(長野県)王滝口開山、中山道本宿での入寂のこと、「普寛行者」には様々な逸話があり、書籍によって書かれ方も様々。興味をそそられた方は「大滝村史」をはじめとした書籍群、旧跡「普寛行者生地」がある大滝の普寛神社や実際に使っていた道具や文を保管している木曾御嶽山「御嶽神社」などでその痕跡を探索してみてくださいはいかががでしょうか？

●記事問い合わせ先●

今回の歴史探訪の担当！

里どころ はたおと秩父

文責：秩父市 商工課 地域おこし協力隊
関川 亜佐子 走出 雪
TEL:0494-25-5208 (商工課)
MAIL: syoko@city.chichibu.lg.jp

山どころ 大滝せせらぎ

文責：秩父市 大滝総合支所 地域振興課
地域おこし協力隊 谷口 孝史
TEL:0494-55-0862 (地域振興課)
MAIL: ot-chiiki@city.chichibu.lg.jp

人どころ つながる秩父

文責：秩父市 地域政策課 移住相談センター
地域おこし協力隊 塩川 佳恵
TEL:0494-26-7946 (移住相談センター)
MAIL: ccbiju@bz04.plala.or.jp



秩父市地域おこし協力隊の日々の活動は

←Facebook ページ

「秩父市地域おこし協力隊」より！